

日本老年臨床心理学会第6回大会 自主シンポジウム 申込書(A)

代表者(筆頭著者)の氏名(ふりがな)	
代表者(筆頭著者)の所属	
代表者(筆頭著者)の本学会会員番号 ※入会手続き中の場合はその旨を記入	
代表者(筆頭著者)のメールアドレス	
代表者(筆頭著者)の電話番号	
希望発表枠	研究発表 ・ 実践発表

連名登壇者(適宜、行を追加してください)

氏名	所属

申込み時のチェックリスト

代表者(筆頭著者)および連名登壇者全員が大会参加申込みを行いましたか？	☐
代表者(筆頭著者)および連名登壇者全員は大会参加費の支払いを済ませましたか？	☐
「A申込書」と「B抄録原稿(WordとPDF)」の3つのファイルを添付していますか？	☐
倫理的配慮について(いずれかをご回答ください)	
抄録に倫理的配慮に関する記載がありますか？ ※末尾にある【倫理的配慮に関する記載例】を参照してください	☐
または、倫理的配慮が不要な研究課題・発表ですか？	☐
利益相反について	
利益相反に関する記載がありますか？ 該当がない場合もその旨を記載しましたか？ ※末尾にある【申告すべき利益相反リスト】および【利益相反の記載方法】を参照してください	☐

いただいた個人情報は、大会運営以外の目的では使用しません。

タイトル(12pt)

サブタイトル(ない場合は空白行とする)

名城太郎(名城大学) (10.5pt)

名城次郎(名城大学)

シンポジウムの背景や目的(10.5pt)

[illegible][illegible]

話題提供の内容(10.5pt)

登壇者の話題提供タイトル 登壇者名(所属)

(各登壇者の話題提供の要約を登壇者ごとに記載してください。)見本見本見本見本見本見本見本見本見本
見本

[illegible]

登壇者の話題提供タイトル 登壇者名(所属)

[illegible]

見本
見本
見本見本.

登壇者の話題提供タイトル 登壇者名(所属)

見本
見本
見本
見本
見本
見本見本

•

本研究に関して開示すべき利益相反はない。(または)
本演題に関して開示すべき利益相反は以下のとおりである.

- ・XX株式会社の寄付講座に所属している。
- ・YY株式会社の株を保有している。

引用文献(10.5pt)

著者名:表題. 雜誌名, 卷(号):頁-頁(發行西曆年)

文字ばけ防止用特殊文字サンプル

→ ← ↑ ↓ % ‰ Å + − ± × ÷ = ≠ ÷ ≡ < > ≤ ≥ ∞ ∞ ∝ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧
 ∨ α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω ∼ °

【自主シンポジウムの抄録作成に関する留意点】

- ・ Wordファイルと, Wordファイルを変換したPDFファイルの両方を提出してください.
- ・ 抄録フォーマットに沿って作成し、フォントサイズや余白、行間隔等の書式は変更しないでください.
- ・ ページを超過したものは受け付けられません.
- ・ 文献を引用した場合, 引用元を抄録に記載してください(表記は「老年臨床心理学研究」の執筆要綱に準拠してください).
- ・ 図表を挿入する場合は十分な解像度のファイルを挿入してください.
- ・ 倫理的配慮および利益相反に関する事項は必ず記載してください(下記参照).
- ・ 個人情報の保護に配慮し, 研究協力者等の個人が特定される可能性のある記載(氏名のイニシャル, 居住地, 写真等)は避けるようにしてください.
- ・ 著作物を図表や画像等として使用する場合は, 権利者の許諾が得られている旨を明記してください.
- ・ 本抄録の内容を大会抄録集に掲載し, Webで公開します. そのため, 抄録原稿の登録をもって著作権譲渡に同意したものとみなします.

【倫理的配慮に関する記載例】

- ・研究倫理委員会にて承認を得ている場合

XX大学研究倫理委員会の承認を受けた. 等

- ・それ以外の場合

※ 原則として実際に実施した倫理的配慮を記載する(インフォームド・コンセントの取得等)

研究参加者に文書に基づいて説明を行い、書面にて同意を得たうえで実施した. 等

【利益相反に関する記載例】※次ページ参照

- ・利益相反の該当がない場合

本研究に関して開示すべき利益相反はない.

- ・利益相反の該当がある場合

本演題に関して開示すべき利益相反は以下のとおりである.

・XX株式会社の寄付講座に所属している.

・YY株式会社の株を保有している. 等

【申告すべき利益相反リスト】 ※過去1年以内(抄録提出時)の利益相反状態を申告

1 企業や営利を目的として団体の役員、顧問職等の有無と報酬額	1つの企業から年間 100 万円以上のものを記載
2 株の保有と、その株式から得られる利益	1つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載
3 企業や営利を目的とした団体から、特許使用料として支払われた報酬	1つにつき年間 100 万円以上のものを記載

4 企業や営利を目的とした団体から、会議の出席(発表)に対して、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料等	1つの企業・団体から支払われた総額が年間 50 万円以上のものを記載
5 企業や営利を目的とした団体から、パンフレット等の執筆に対して支払われた原稿料	1つの企業・団体から支払われた総額が年間 50 万円以上のものを記載
6 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)等	1つの企業・団体から支払われた総額が年間100 万円以上のものを記載
7 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄附金(奨励寄付金)等の有無	1つの企業・団体から支払われた総額が年間100 万円以上のものを記載
8 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座	企業・団体等からの寄付講座に所属している場合に記載
9 研究とは無関係な旅行、贈答品等	1つの企業・団体から年間 5 万円以上のものを記載

【提出方法および今後の流れ】

・申込書および抄録原稿

上記のチェックリストを確認のうえ、【2023年 11月30日】までに事務局までメールで提出してください。

【提出先: jsgcp2023@gmail.com】

・動画ファイル

【2023 年11月30日】までに事務局まで、MP4の形式で、大容量データ転送サービスやクラウドサービスを利用して提出してください。CDに保存して事務局まで郵便で送っていただいても構いません。

その際は、CDは返却できませんが、大会終了後に事務局で破棄させていただきます。ご提出の際には、メールで必ずご連絡ください。詳細は別途公開するマニュアルをご確認ください。